

さくらの開花予想（第8回） （北海道地方）

〔本文〕

本年のさくらの開花は、北海道地方では平年並の見込みです。

〔解説〕

さくらの開花は、一般的に気温が高いと早まり、気温が低いと遅くなります。今回の予想対象地域である北海道地方の1月からこれまでの気温は、2月は平年より低めに、3月は平年より高めに、それ以外の期間は概ね平年並に推移しました。今後の気温は、平年並と予想されています。このため、北海道地方の開花は平年並の見込みです。

なお、北海道地方のさくらの開花予想は、ソメイヨシノの生育地が限られているため、エゾヤマザクラ、チシマザクラを対象としている地点があります。

〔参考〕

1. さくらは、夏頃に翌春咲く花の元となる花芽（かが）を形成し、休眠に入ります。花芽は冬の低温に一定期間さらされると休眠から覚めます（休眠打破）。花芽は休眠打破のあと温度の上昇とともに生長し開花します。
さくらの予想開花日は、過去の開花日と気温のデータから予想式を作成し、これに、昨年秋からの気温経過と気温予報をあてはめて求めています。なお、気温予報には週間予報、4月15日（金）発表の1か月予報及び3月24日（木）発表の3か月予報を用いています。
2. 開花とは花が5～6輪開いた状態のことです。さくらの開花は、一般的に標高が100m高くなるごとに約2～3日遅くなります。
また、ソメイヨシノ（エゾヤマザクラ、チシマザクラ）の開花から満開までの期間は、今回発表した北海道地方では約3～4日間です。なお、満開とは、花芽の約80%以上が開花した状態のことです。
3. さくらの開花を平年値（1971年～2000年の30年間の累年平均値）と比べる場合、「平年並」とは平年値との差が2日以内、「早い（遅い）」とは平年値より3日以上早い（遅い）ことをいいます。なお、「かなり早い（遅い）」とは平年値より7日以上早い（遅い）ことをいいます。
4. 開花予想は、各气象台や測候所の定めた標本木を対象としたもので、名所の開花とは異なることもあります。

資料1：2005年の各地のさくらの開花予想（4月20日発表）

資料2：2005年のさくらの開花予想の等期日線図（4月20日発表）

さくらの開花予想の発表は、特に状況に変化がない限り今回で終了します。

問い合わせ先：気象庁観測部観測課

電話：03-3212-8341（内線4228）

札幌管区气象台技術部気候・調査課

電話：011-611-6149（ダイヤルイン）

資料1 2005年の各地のさくらの開花予想 (4月20日発表)

(北海道地方)

地点	予想 開花日	平年 開花日	平年 差	前年 開花日	前年 差	品種
【北海道地方】						
札幌	5 6	5 5	+1	5 5	+1	
稚内	5 17	5 16	+1	5 10	+7	エゾヤマザクラ
留萌	5 12	5 11	+1	5 10	+2	エゾヤマザクラ
旭川	5 9	5 7	+2	5 6	+3	エゾヤマザクラ
網走	5 14	5 13	+1	5 12	+2	エゾヤマザクラ
岩見沢	5 6	5 4	+2	5 6	0	エゾヤマザクラ
帯広	5 6	5 7	-1	5 5	+1	エゾヤマザクラ
釧路	5 17	5 18	-1	5 16	+1	エゾヤマザクラ
根室	5 21	5 20	+1	5 14	+7	チシマザクラ
室蘭	5 7	5 8	-1	5 4	+3	
浦河	5 10	5 11	-1	5 11	-1	エゾヤマザクラ
江差	5 1	5 3	-2	4 29	+2	
函館	5 2	5 3	-1	4 26	+6	
倶知安	5 11			5 7	+4	
紋別	5 13	5 12	+1	5 11	+2	エゾヤマザクラ

(注) 表中の平年差の「+」は平年より遅い、「-」は平年より早い、「0」は平年と同じことを表します。

資料2 2005年のさくらの開花予想の等期日線図 (4月20日発表)

(北海道地方)

